

高石市議会議員 山敷めぐみ（無所属） 議員活動報告



めぐみ通信

Vol. 27

2017年 12月

阪口市長 議会の多数決に **拒否権行使!!**

加茂

3歳児

なんで?



なんで～?



→**幼稚園の保育料66%値上げ決定!**
来春より15,500円→25,700円へ!

最高額が...

15,500円に据置いても、1年間で最大約147万円の負担で済むのに。

これで「子育てナンバーワン」「子育てするなら高石市」なの?

なぜ議会の多数決を拒否してまで値上げするの? 誰のための行政??

12月議会では、総務文教委員会（4対3）でも本会議（8対7）でも賛成多数で「幼稚園の保育料は据置き」という議員提案の議案が可決されました。

本当なら来春からも現行通り最高額は15,500円の保育料で済むはずでした。

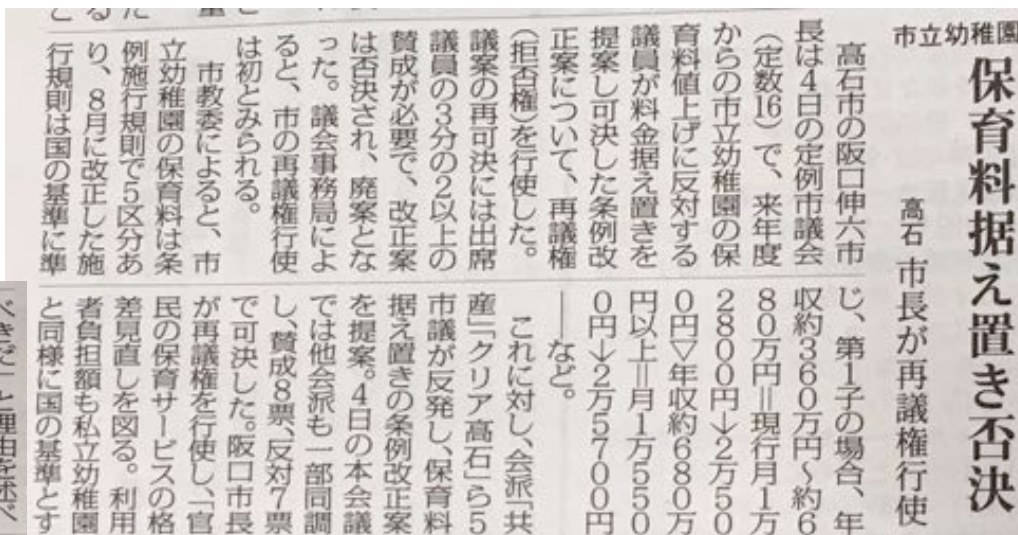
しかし何故か阪口市長は「再議に付す」として「再議書」を議会に提出（これを市長の拒否権行使と言う。自分の政治理念に反する議決がされた時などに使われるが、濫用は許されない。高石市では初の行使。全国でも昨年1年間、814市・区議会の年間3000回以上の議会であつたの4回しか行使されていない【全国市議会議長会ウェブサイトより】）。

再議には議員の三分の二の賛成が必要です。議員は16人（再議には議長も加わる）なので、11票が必要となりましたが「保育料据置き」に賛成は9票、反対が7票だった為、賛成多数なのに否決される、という非常に残念な結果となりました。

一体、誰のための再議なのでしょう。市民の多数がこの結果を望んだのでしょうか。

そもそも 15,500 円に据え置く条例は議員提案条例です。この条例に反対討論し値上げを主張したのは、市民クラブの清水明治議員と公明党の宮口典子議員です。(市民クラブ：清水・古賀・森・東野各議員。公明党：久保田・佐藤・宮口各議員)

12月5日(火) 毎日新聞朝刊より



》》 高石市、大阪府内で1市だけ残念なことに！ 《《

さらに12月議会では残念なことが判明。来春より子ども医療費通院助成が、大阪府内の33市の中で高石市だけが小学校6年生までの最低ランクになるのです。他は中学校卒業まで。中には大阪市・箕面市・寝屋川市・門真市のように18歳までという市もあります。

この件も、昨年の12月議会に議員全員で「中学校卒業までの拡充を出来るだけ早い時期に導入を」と決議し市長に要望したのに、全く無視された状態です。

再議の件と言いこの決議の件と言い、議会軽視の状況が続いています。子どもに冷たい市になっていることを本当に残念に思います。

第23回 クリア高石 議会報告会

2018年2月17日(土) 10時～
パンセ羽衣3階 会議室にて(参加無料)

第11回 憲法カフェ【下迫田弁護士と共に】

2018年3月17日(土) 14時～

山敷めぐみは高石市を

「子どもの笑顔いっぱい、幸せが広がるま

WEBサイトもご覧ください

<http://yamashikimegumi.com/>

発行： 山敷めぐみ (会派：クリア高石)

事務所：高石市羽衣5-14-13

megumi28@gmail.com

072-262-3979